

氏名	岩本高行
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3730 号
学位授与の日付	平成20年9月30日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	The Impact of Donor Age on the Outcome of Adult Living Donor Liver Transplantation (成人生体肝移植の成績に対するドナー加齢のおよぼす影響)
論文審査委員	教授 山本和秀 教授 小出典男 准教授 阪口政清

学位論文内容の要旨

高齢者ドナーからの生体肝移植における移植成績とその解析についてまとめたのでここに報告する。まず Retrospective study として累積生存に関する解析を行い、つづいて Prospective study として原因の解析をおこなった。高齢ドナー群では若年ドナー群と比較して有意に予後不良であった。高齢ドナー群では再灌流後に活性型 STAT3、Akt の発現の増強が不十分であった。また高齢ドナー群では血清 8-OHdG の術後有意な低下が認められた。高齢ドナーの予後悪化には肝再生のシグナル伝達の遅延が強く影響していると考えられ、冷疎血時の遺伝子導入などの積極的 extra-corporeal therapy の応用が期待される。

論文審査結果の要旨

本研究は生体肝移植における移植成績に与えるドナー年齢の影響につき検討したもので、高齢者ドナーでは若年者に比較して予後が不良であった。年齢以外の臨床的な背景において両群間に有意な差はなかった。術後の臨床経過では、高齢者群で有意に高ビリルビン血症が認められた。高齢者ドナーの予後不良の原因について、術後早期の細胞増殖シグナルを検討すると、高齢者群では p-Akt や p-STAT の発現が低下していた。また血清 8-OHdG は若年者群で増加していた。

生体肝移植において、ドナーの年齢が移植成績に重要な影響を与えることを示した有用な研究であると考えられる。

よって本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。